

《専門科目》

科目名	卒業研究ゼミ				
担当者氏名	福田 馨				
授業方法	演習	単位・必選	2・必修	開講年次・開講期	2年・通年(前期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	2-2 知識・技能 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

学科（専攻）の研究班あるいは研究領域のゼミに所属し、各ゼミの指導教員と協議して研究テーマ（グループ研究および個人研究）を決定し研究を行う。研究結果を解析・考察し論文にまとめる。また研究内容・成果を口頭またはポスター発表する。卒業研究は、研究の進行や研究結果の考察を、各研究グループで議論しながら進めていく。

《テキスト》

必要に応じプリント等を配布する。

《参考図書》

国際学院埼玉短期大学 卒業研究・特別研究論文抄録集ほか、各ゼミの指導教員が指示する。

《授業の到達目標》

- ・問題発見、解決、提案する力を身につける。
- ・研究内容の説明ができる。
- ・研究内容に関して討議することができる。
- ・実験、観察、調査で得られた結果について討議し、文章にまとめることができる。
- ・研究内容・成果をスライドにまとめて発表することができる。
- ・研究倫理を遵守できる。

《授業時間外学習》

毎回の授業について、1時間の授業時間外学習が必要である。授業時間外学習において、準備学習として毎回のゼミ活動の内容をまとめ、次回のゼミに臨むこと。研究は正課授業時間外を活用して実施する場合もある。各ゼミで授業日が変更となることがあるため、日程は十分に把握すること。

《成績評価の方法》

卒業研究ルーブリック表に基づき評価し、すべての評価項目が1以上であること、かつ各人が提出する卒業研究論文の評価が60点以上を合格とする。

《課題に対するフィードバック等》

各人が研究の進捗状況報告を毎回のゼミで随時行い、積極的に指導教員や共同研究者（ゼミ生）と討論することにより、研究遂行にフィードバックしていく。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	卒業研究・卒業論文の概要	配属ゼミの専門・研究内容について
2	卒業研究・卒業論文の概要	卒業研究の進め方について
3	卒業研究・卒業論文の概要	卒業論文の構成について
4	卒業研究の実施	研究テーマをゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの検討、先行研究の検索（グループワーク）
5	卒業研究の実施	研究テーマをゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの検討、先行研究の検索（グループワーク）
6	卒業研究の実施	研究テーマをゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの決定、研究方法の検討（グループワーク）
7	卒業研究の実施	研究テーマをゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの決定、研究方法の検討（グループワーク）
8	卒業研究の実施	研究テーマ（グループ研究、個人研究）をゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究計画の作成（グループワーク）
9	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
10	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
11	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
12	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
13	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
14	卒業研究の実施	前期卒業研究における進捗状況の報告（中間報告）（グループワーク）
15	卒業研究の実施	中間報告をもとに研究計画の見直しを行う。後期卒業研究の研究計画を作成する。（グループワーク）

《専門科目》

科目名	卒業研究ゼミ				
担当者氏名	田中 辰也				
授業方法	演習	単位・必選	2・必修	開講年次・開講期	2年・通年(前期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	2-2 知識・技能 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

配属された研究領域のゼミに所属し、指導教員と協議して研究テーマ（グループ研究および個人研究）を決定し研究を行う。研究結果を考察し論文にまとめる。また研究内容・成果を口頭またはポスター発表する。

《テキスト》

必要に応じプリント等を配布する。

《参考図書》

国際学院埼玉短期大学 卒業研究・特別研究論文抄録集

《授業の到達目標》

問題発見及び解決する力を身につける。  
 研究を通して調べたことを、文章や図表にまとめることができる。  
 研究内容を説明、討議することができる。  
 研究内容・成果を発表することができる。  
 研究内容・成果を論文としてまとめることができる。  
 研究倫理を遵守できる。

《授業時間外学習》

毎回の授業について1時間の授業時間外学習が必要である。授業時間外学習において、準備学習として毎回のゼミ活動の内容をまとめ、次回のゼミに臨むこと。授業日が変更となることあるため日程は十分に把握すること。

《成績評価の方法》

卒業研究ルーブリック表に基づき評価し、すべての評価項目が1以上であること、かつ各人が提出する卒業研究論文の評価が60点以上を合格とする。

《課題に対するフィードバック等》

研究の進捗状況を共有しながら、必要に応じてフィードバックを行う。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	卒業研究の実施	2年次卒業研究の研究計画を作成する。(グループワーク)
2	卒業研究の実施	2年次卒業研究の研究計画を作成する。(グループワーク)
3	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施し結果をまとめる。(グループワーク)
4	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施し結果をまとめる。(グループワーク)
5	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施し結果をまとめる。(グループワーク)
6	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施し結果をまとめる。(グループワーク)
7	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施し結果をまとめる。(グループワーク)
8	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施し結果をまとめる。(グループワーク)
9	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施し結果をまとめる。(グループワーク)
10	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施し結果をまとめる。(グループワーク)
11	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施し結果をまとめる。(グループワーク)
12	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施し結果をまとめる。(グループワーク)
13	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施し結果をまとめる。(グループワーク)
14	卒業研究の実施	前期卒業研究の進捗状況を確認し中間報告を行う。(グループワーク)
15	卒業研究の実施	中間報告をもとに研究計画の見直しを行う。後期卒業研究の研究計画を作成する。(グループワーク)

《専門科目》

科目名	卒業研究ゼミ				
担当者氏名	米澤 澄子				
授業方法	演習	単位・必選	2・必修	開講年次・開講期	2年・通年(前期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	2-2 知識・技能 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

学科（専攻）の研究班あるいは研究領域のゼミに所属し、各ゼミの指導教員と協議して研究テーマ（グループ研究および個人研究）を決定し研究を行う。研究結果を解析・考察し論文にまとめる。また研究内容・成果を口頭またはポスター発表する。卒業研究は、研究の進行や研究結果の解析・考察を、各研究グループで討論しながら進めていく。

《授業の到達目標》

問題発見、解決、提案する力を身につける。  
実験、観察、調査を通して調べたことを、文章や図表にまとめることができる。  
研究内容を説明、討議することができる。  
研究内容・成果を発表することができる。  
研究内容・成果を論文としてまとめることができる。  
研究倫理を遵守できる。

《成績評価の方法》

卒業研究ルーブリック表に基づき評価し、すべての評価項目が1以上であること、かつ各人が提出する卒業研究論文の評価が60点以上を合格とする。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	卒業研究の実施	2年次卒業研究の研究計画を作成する。（グループワーク）
2	卒業研究の実施	2年次卒業研究の研究計画を作成する。（グループワーク）
3	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
4	卒業研究の実施	研究テーマをゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの検討、先行研究の検索（グループワーク）
5	卒業研究の実施	研究テーマをゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの検討、先行研究の検索（グループワーク）
6	卒業研究の実施	研究テーマをゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの検討、先行研究の検索（グループワーク）
7	卒業研究の実施	研究テーマ（グループ研究、個人研究）をゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究計画の作成（グループワーク）
8	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
9	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
10	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
11	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
12	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
13	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
14	卒業研究の実施	前期卒業研究における進捗状況の報告（中間報告）（グループワーク）
15	卒業研究の実施	中間報告をもとに研究計画の見直しを行う。後期卒業研究の研究計画を作成する。（グループワーク）

《テキスト》

必要に応じプリント等を配布する。

《参考図書》

日本栄養改善学会監修、論文の書き方・まとめ方、第一出版  
日本栄養改善学会監修、初めての栄養学研究論文、第一出版  
村上健太郎、基礎から学ぶ栄養学研究、建帛社  
国際学院埼玉短期大学 卒業研究・特別研究論文抄録集  
ほか、各ゼミの指導教員が指示する。

《授業時間外学習》

毎回の授業について1時間の授業時間外学習が必要である。授業時間外学習において、準備学習として毎回のゼミ活動の内容をまとめ、次回のゼミに臨むこと。研究は正課授業時間外を活用して実施する場合もある。各ゼミで授業日が変更となることがあるため、日程は十分に把握すること。

《課題に対するフィードバック等》

各人が研究の進捗状況報告を毎回のゼミで随時行い、積極的に指導教員や共同研究者（ゼミ生）と討論することにより、研究遂行にフィードバックしていく。

《専門科目》

科目名	卒業研究ゼミ				
担当者氏名	田中 祐作				
授業方法	演習	単位・必選	2・必修	開講年次・開講期	2年・通年(前期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	2-2 知識・技能 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

学科（専攻）の研究班あるいは研究領域のゼミに所属し、各ゼミ指導教員と協議して研究テーマを決定し研究を行う。研究結果の解析・考察する。

卒業研究は、研究の遂行や研究結果の解析・考察、各研究グループで討論しながら進めていく。

《テキスト》

必要に応じてプリント等を配布する。

《参考図書》

国際学院埼玉短期大学 卒業研究・特別研究論文抄録集ほか、各ゼミの指導教員が指示する。

《授業の到達目標》

SDGsを説明できる。 研究論文を構成を説明できる  
 研究企画できる。 研究結果について討議することができる。  
 研究内容をまとめことができる 研究内容を説明できる。  
 研究倫理を遵守できる。

《授業時間外学習》

毎回の授業について1時間の授業時間外学習が必要である。授業時間外学習において、準備学習として毎回のゼミ活動の内容をまとめ、次回のゼミに臨むこと。研究は正課授業時間外を活用して実施する場合もある。各ゼミで授業日の変更となることがあるため、日程は十分に把握すること。

《成績評価の方法》

卒業研究ルーブリック表に基づき評価し、すべての評価項目が1以上であること、かつ各人が提出する卒業研究論文の評価が60点以上を合格とする。

《課題に対するフィードバック等》

各人が研究の進捗状況報告を毎回のゼミで随時行い、積極的に指導員や共同研究者（ゼミ生）と討論することにより、研究遂行にフィードバックしていく。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	卒業研究の実施	2年次卒業研究の研究計画を作成する。（グループワーク）
2	卒業研究の実施	2年次卒業研究の研究計画を作成する。（グループワーク）
3	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
4	卒業研究の実施	研究テーマをゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの検討、先行研究の検索（グループワーク）
5	卒業研究の実施	研究テーマをゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの検討、先行研究の検索（グループワーク）
6	卒業研究の実施	研究テーマをゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの決定、研究方法の検討（グループワーク）
7	卒業研究の実施	研究テーマ（グループ研究、個人研究）をゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究計画の作成（グループワーク）
8	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
9	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
10	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
11	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
12	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
13	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
14	卒業研究の実施	前期卒業研究における進捗状況の報告（中間報告）（グループワーク）
15	卒業研究の実施	中間報告をもとに研究計画の見直しを行う。後期卒業研究の研究計画を作成する。（グループワーク）

《専門科目》

科目名	卒業研究ゼミ				
担当者氏名	福田 馨				
授業方法	演習	単位・必選	2・必修	開講年次・開講期	2年・通年(後期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	2-2 知識・技能 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

学科（専攻）の研究班あるいは研究領域のゼミに所属し、各ゼミの指導教員と協議して研究テーマ（グループ研究および個人研究）を決定し研究を行う。研究結果を解析・考察し論文にまとめる。また研究内容・成果を口頭またはポスター発表する。卒業研究は、研究の進行や研究結果の解析・考察を、各グループで討論しながら進めていく。

《テキスト》

必要に応じプリント等を配布する。

《参考図書》

国際学院埼玉短期大学 卒業研究・特別研究論文抄録集ほか、各ゼミの指導教員が指示する。

《授業の到達目標》

- ・問題発見、解決、提案する力を身につける。
- ・実験、観察、調査を通して調べたことを、文章や図表にまとめることができる。
- ・研究内容を説明、討議することができる。
- ・研究内容・成果を発表することができる。
- ・研究内容・成果を論文としてまとめることができる。
- ・研究倫理を遵守できる。

《授業時間外学習》

毎回の授業について、1時間の授業時間外学習が必要である。授業時間外学習において、準備学習として毎回のゼミ活動の内容をまとめ、次回のゼミに臨むこと。研究は正課授業時間外を活用して実施する場合もある。各ゼミで授業日が変更となることがあるため、日程は十分に把握すること。

《成績評価の方法》

卒業研究ルーブリック表に基づき評価し、すべての評価項目が1以上であること、かつ各人が提出する卒業研究論文の評価が60点以上を合格とする。

《課題に対するフィードバック等》

各人が研究の進捗状況報告を毎回のゼミで随時行い、積極的に指導教員や共同研究者（ゼミ生）と討論することにより、研究遂行にフィードバックしていく。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	卒業研究の実施	後期研究計画の確認。研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
2	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
3	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
4	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
5	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
6	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
7	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動の準備（グループワーク）
8	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動の準備（グループワーク）
9	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動（グループワーク）
10	卒業研究の実施	研究論文の作成
11	卒業研究の実施	研究論文の作成
12	卒業研究の実施	研究論文の作成
13	卒業研究の実施	卒業研究発表会資料（スライド、ポスター）の作成（グループワーク）
14	卒業研究の実施	卒業研究発表会資料（スライド、ポスター）の作成（グループワーク） 発表用原稿の作成
15	卒業研究の実施	卒業研究発表会（口頭発表、ポスター発表）の練習（グループワーク）

《専門科目》

科目名	卒業研究ゼミ				
担当者氏名	田中 辰也				
授業方法	演習	単位・必選	2・必修	開講年次・開講期	2年・通年(後期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	2-2 知識・技能 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

配属された研究領域のゼミに所属し、指導教員と協議して研究テーマ（グループ研究および個人研究）にそって研究を行う。研究結果を考察し論文にまとめる。また研究内容・成果を研究グループとしてまとめ口頭またはポスター発表を行う。

《テキスト》

必要に応じプリント等を配布する。

《参考図書》

国際学院埼玉短期大学 卒業研究・特別研究論文抄録集

《授業の到達目標》

問題発見及び解決する力を身につける。  
研究を通して調べたことを、文章や図表にまとめることができる。  
研究内容を説明、討議することができる。  
研究内容・成果を発表することができる。  
研究内容・成果を論文としてまとめることができる。  
研究倫理を遵守できる。

《授業時間外学習》

毎回の授業について1時間の授業時間外学習が必要である。授業時間外学習において、準備学習として毎回のゼミ活動の内容をまとめ、次回のゼミに臨むこと。授業日が変更となることあるため日程は十分に把握すること。

《成績評価の方法》

卒業研究ルーブリック表に基づき評価し、すべての評価項目が1以上であること、かつ各人が提出する卒業研究論文の評価が60点以上を合格とする。

《課題に対するフィードバック等》

研究の進捗状況を共有しながら、必要に応じてフィードバックを行う。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	卒業研究の実施	研究計画を確認し計画に沿って卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施し結果をまとめる。(グループワーク)
2	卒業研究の実施	研究計画を確認し計画に沿って卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施し結果をまとめる。(グループワーク)
3	卒業研究の実施	研究計画を確認し計画に沿って卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施し結果をまとめる。(グループワーク)
4	卒業研究の実施	研究計画を確認し計画に沿って卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施し結果をまとめる。(グループワーク)
5	卒業研究の実施	研究計画を確認し計画に沿って卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施し結果をまとめる。(グループワーク)
6	卒業研究の実施	研究計画を確認し計画に沿って卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施し結果をまとめる。(グループワーク)
7	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動の準備(グループワーク)
8	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動の準備(グループワーク)
9	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動の準備(グループワーク)
10	卒業研究の実施	研究論文の作成
11	卒業研究の実施	研究論文の作成
12	卒業研究の実施	研究論文の作成
13	卒業研究の実施	卒業研究発表会資料(スライド、ポスター)の作成(グループワーク)
14	卒業研究の実施	卒業研究発表会資料(スライド、ポスター)の作成(グループワーク)
15	卒業研究の実施	卒業研究発表会。口頭発表又はポスター発表方法等の検討を行う(グループワーク)

《専門科目》

科目名	卒業研究ゼミ				
担当者氏名	米澤 澄子				
授業方法	演習	単位・必選	2・必修	開講年次・開講期	2年・通年(後期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	2-2 知識・技能 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

学科(専攻)の研究班あるいは研究領域のゼミに所属し、各ゼミの指導教員と協議して研究テーマ(グループ研究および個人研究)を決定し研究を行う。研究結果を解析・考察し論文にまとめる。また研究内容・成果を口頭またはポスター発表する。卒業研究は、研究の進行や研究結果の考察を、各研究グループで話し合いながら進めていく。

《授業の到達目標》

問題発見、解決、提案する力を身につける。  
実験、観察、調査を通して調べたことを、文章や図表にまとめることができる。  
研究内容を説明、討議することができる。  
研究内容・成果を発表することができる。  
研究内容・成果を論文としてまとめることができる。  
研究倫理を遵守できる。

《成績評価の方法》

卒業研究ルーブリック表に基づき評価し、すべての評価項目が1以上であること、かつ各人が提出する卒業研究論文の評価が60点以上を合格とする。

《テキスト》

必要に応じプリント等を配布する。

《参考図書》

日本栄養改善学会監修、論文の書き方・まとめ方、第一出版  
日本栄養改善学会監修、初めての栄養学研究論文、第一出版  
村上健太郎、基礎から学ぶ栄養学研究、建帛社  
国際学院埼玉短期大学 卒業研究・特別研究論文抄録集  
ほか、各ゼミの指導教員が指示する。

《授業時間外学習》

毎回の授業について1時間の授業時間外学習が必要である。授業時間外学習において、準備学習として毎回のゼミ活動の内容をまとめ、次回のゼミに臨むこと。研究は正課授業時間外を活用して実施する場合もある。各ゼミで授業日が変更となることがあるため、日程は十分に把握すること。

《課題に対するフィードバック等》

各人が研究の進捗状況報告を毎回のゼミで随時行い、積極的に指導教員や共同研究者(ゼミ生)と討論することにより、研究遂行にフィードバックしていく。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	卒業研究の実施	後期研究計画の確認。研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。(グループワーク)
2	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。(グループワーク)
3	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。(グループワーク)
4	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。(グループワーク)
5	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。(グループワーク)
6	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。(グループワーク)
7	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動の準備(グループワーク)
8	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動の準備(グループワーク)
9	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動(グループワーク)
10	卒業研究の実施	研究論文の作成
11	卒業研究の実施	研究論文の作成
12	卒業研究の実施	研究論文の作成
13	卒業研究の実施	卒業研究発表会資料(スライド、ポスター)の作成(グループワーク)
14	卒業研究の実施	卒業研究発表会資料(スライド、ポスター)の作成(グループワーク) 発表用原稿の作成
15	卒業研究の実施	卒業研究発表会(口頭発表、ポスター発表)の練習(グループワーク)

《専門科目》

科目名	卒業研究ゼミ				
担当者氏名	田中 祐作				
授業方法	演習	単位・必選	2・必修	開講年次・開講期	2年・通年(後期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	2-2 知識・技能 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

学科（専攻）の研究班あるいは研究領域のゼミに所属し、各ゼミの指導教員と協議して研究テーマを決定し研究を行う。研究結果の解析・考察する。

卒業研究は、研究の遂行や研究結果の解析・考察を、各研究グループで討論しながら進めていく。

《テキスト》

必要に応じてプリント等を配布する。

《参考図書》

国際学院埼玉短期大学 卒業研究・特別研究論文抄録集ほか、各ゼミの指導教員が指示する。

《授業の到達目標》

SDGs を説明できる。 研究論文を構成を説明できる  
研究企画できる。 研究結果について討議することができる。  
研究内容をまとめことができる 研究内容を説明できる。  
研究倫理を遵守できる。

《授業時間外学習》

毎回の授業について1時間の授業時間外学習が必要である。授業時間外学習において、準備学習として毎回のゼミ活動の内容をまとめ、次回のゼミに臨むこと。研究は正課授業時間外を活用して実施する場合もある。各ゼミで授業日が変更となることがあるため、日程は十分に把握すること。

《成績評価の方法》

卒業研究ルーブリック表に基づき評価し、すべての評価項目が1以上であること、かつ各人が提出する卒業研究論文の評価が60点以上を合格とする。

《課題に対するフィードバック等》

各人が研究の進捗状況報告を毎回のゼミで随時行い、積極的に指導員や共同研究者（ゼミ生）と討論することにより、研究遂行にフィードバックしていく。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	卒業研究の実施	後期研究計画の確認。研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
2	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
3	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。研究・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
4	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。研究・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
5	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。研究・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
6	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。研究・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
7	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動の準備（グループワーク）
8	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動の準備（グループワーク）
9	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動（グループワーク）
10	卒業研究の実施	研究論文の作成
11	卒業研究の実施	研究論文の作成
12	卒業研究の実施	研究論文の作成
13	卒業研究の実施	卒業研究発表会資料（スライド、ポスター）の作成（グループワーク）
14	卒業研究の実施	卒業研究発表会資料（スライド、ポスター）の作成（グループワーク） 発表用原稿の作成
15	卒業研究の実施	卒業研究発表会（口頭発表、ポスター発表）の練習（グループワーク）